



Yusha party kara
SEIJO wo
Sukutta no ha
MAOU sama Deshita



presents

勇者パーティから

聖女を救ったのは

魔王様でした

ADULT
ONLY



勇者パーティから

聖女を救ったのは

魔王様でした

交通事故に遭い
気が付けば聖女として
この世界に転生していた

生前に漫画や
アニメで
よく見た話

その後は回復役として
勇者パーティに加わり
魔王討伐を目指す…

ただ違ったのは
前の世界で読んだ
物語では聖女が
随分と大切に
扱われていたけれど

ここはそんなに
優しい世界では
なかった事

ほらちゃんと
仲間を癒さないと

回復担当でしょ

笑

男性のみのパーティで
求められることは
とてもシンプルで

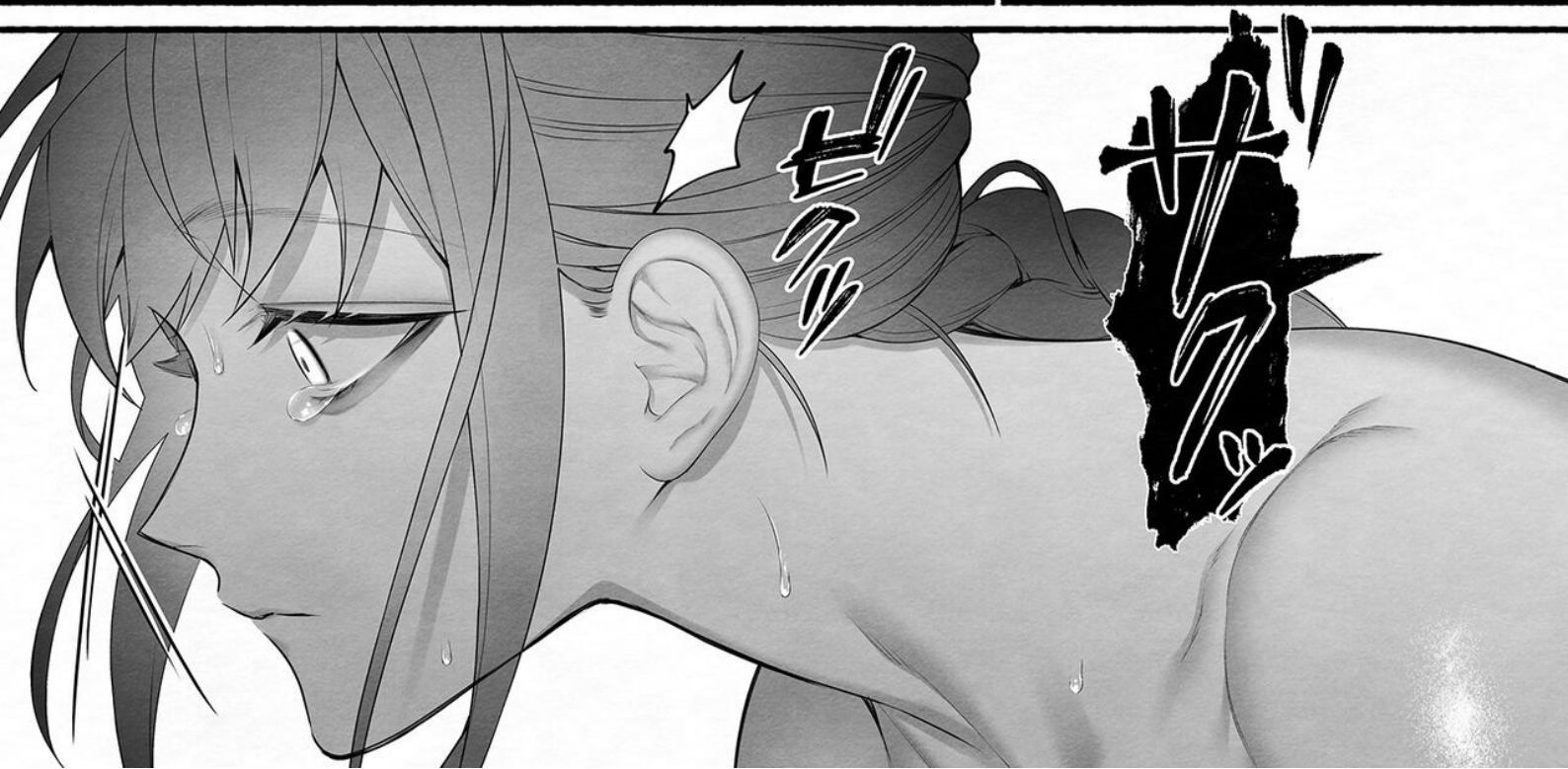
私はこの世界に
転生したことを
心底憎んだ

やめ…
やめてください…っ

そんな時











このまま森で
仲間の迎えを
待ちたければ残れ



女



俺と来るならば
そいつの背に乗れ



仲間…なんて

間違いなく
彼らが私を助けに
ここへ戻る事なんて
ないだろう

このまま森に残れば
魔物に食べられる

付いていっても結果は
同じかもしれないけど…

でも…

きゅん…





あ

あの…

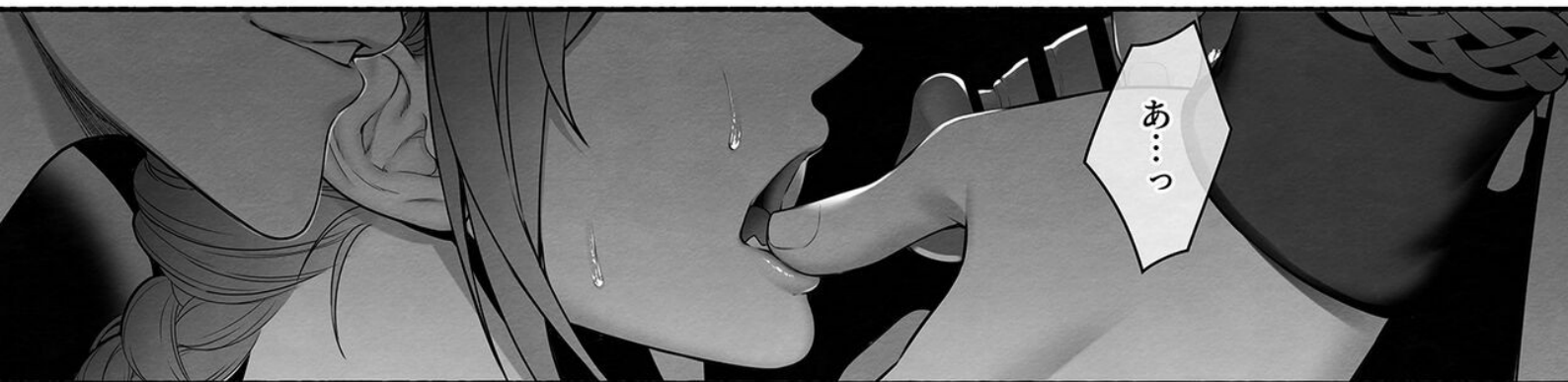
やめてくたあ…っ

ズル

ズル

うるせえなあ

このパーティーで
お前だけ戦えないんだから
せめてこれぐらいしろよ





その…私をここに置いて良いのでしょうか？

私たちは魔王軍にとって敵ですし…

そうなの？

でも別に君は今僕らを攻撃しようと思っ
てないでしょ？

そういう相手に対して襲い掛かるようなのはこの城にはいないから安心して

…っ

あ、ありがとう
ございます…！

僕の名前はレオ君は？

あ…私はユキです

あの…ただ置いて頂くだけというのも心苦しいですし

もしご迷惑でなければ何かお手伝いさせて頂けないでしょうか？

え？それは助かるけど…でもまだ疲れてるだろうから無理しないで

…とはいえこのお城万年人手不足だから体調が回復したら色々手伝ってくれと嬉しいかも！

勿論です！

不慣れでご面倒をおかけしてしまうかもしれませんが…

うん！
一緒に少しずつやっ
ていこー



昨日は夜だったし
あんなことがあった
直後だったから

顔もまとも
見てなかったけど

こんなに綺麗な
顔してたんだ
魔王様……

イメージと全然違う……

……何の用だ

けどやっぱり
人間とは違う感じ

冷たい感じが
して怖い……

あの、昨日は
本当にありがとうございました



……

それで……その
何か私にお手伝い
出来る事があれば
お申し付けください

お礼にもならない
かもしれませんが

回復魔法とかなら
一応使えるので……





お、怒ってる…？

やっぱり部屋来たの
まづかったかな…



無理せずとも良い

…え？

………



俺の姿形は
人間の男に近い

まだ怖いだろう

…？

斥候に送った
者たちから
聞いている

お前が何を
されたのか

！



それについては
俺とその魔物以外
誰も知らぬ

昨日居合わせた
者たちにも
口外せぬよう
言っておいた

え…



……



ここには
好きなだけいて
構わん

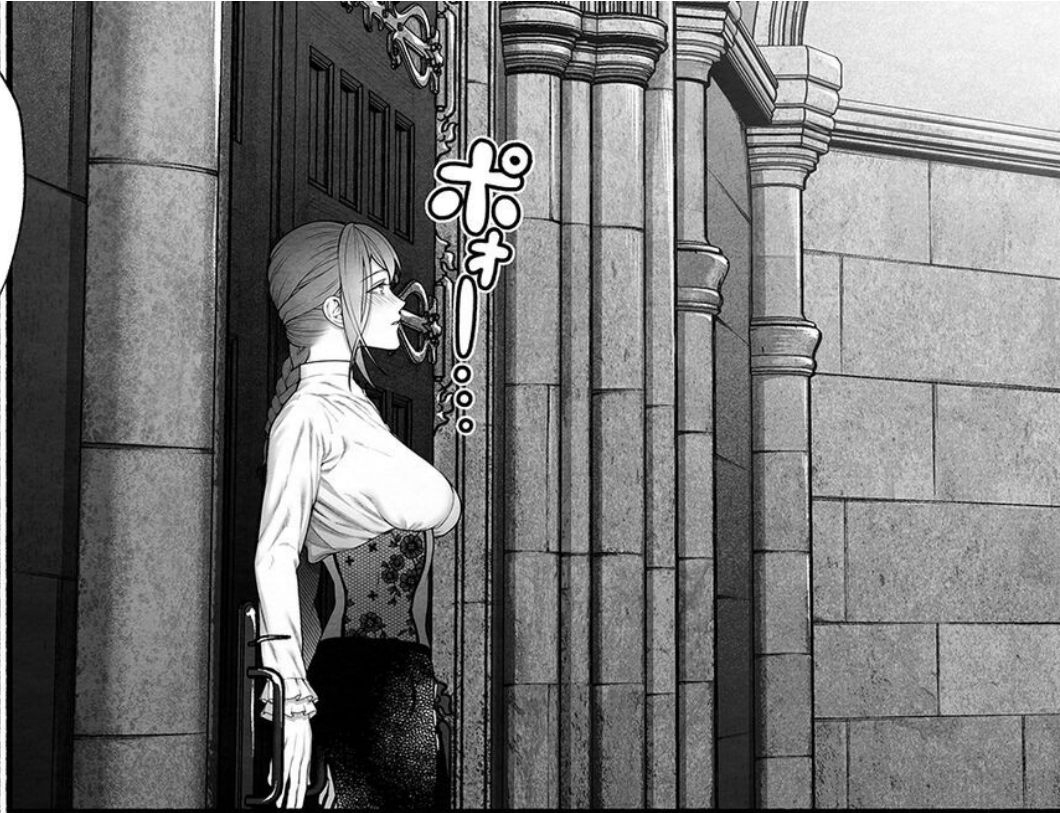
自分の心を
休めることだけ
考えろ



あの場に口出したのは
ただ俺が
不愉快だったからだ

礼など必要ない

キーン…





…魔王様
カッコよかったでしょ

ぽそっ

!!

ポッ



キミが昨日
助けられた
場所ね

本当はあの辺りの
エリアだと
討伐隊が来てても

僕らは基本
こっちから
攻撃したり
しないんだけどさ



昨日は魔王様が
命令して助けに
行ったらしいよ

!

そ
そうなんですか…

ハ
あまよ…

ニヤ

ニヤ

聖女のくせに
あんなことを
していたと言うのは
正直誰にも
知られたくなかった

けれどそれ以上に
助けてくれたことが
嬉しかった

…あの
本来私は敵なのに

なぜ貴方も魔王様も
そんなに良くして
くれるんでしょうか？

僕らは基本的に
攻撃してこない人間には
攻撃しないよ

君からは全然
敵意感じないし

てかさあなんか
仲間のパーティーに
置いていかれ
ちゃったんでしょ？

ひどすぎない？

そいつらやつつけたく
なったら言ってね

僕協力するから

そ、そんなっ

良いんです
私は大丈夫ですし

それにあれは…
私が悪かったの



そう、あれは彼らが
一方的に悪いわけでは
決して無かったのだ

パーティーで
私以外は皆
戦士系の職

戦いで主に傷つくのは
前衛で戦う彼らで

支援回復役の私は
めったに傷を
受けることはない



それが不平不満に繋がり
別の形で埋め合わせを
求められるのは
不自然な事ではない

あ、あの…っ

彼らの方が遥かに
重いリスクを
背負っているのだから



なのに 私は

ま
待ってください

その…っ

聖女の力は処女でないと
使えなくなってしまうのです……ッ

とっさに嘘を
ついてしまった

…は？

マジ？

流石に回復
無くなるのはなあ

なら仕方ねーか

じゃ手とお口で
よろしくね

聖女様♥

けれども本当はあんな嘘
つくべきでは
なかったのではないか

皆が命を懸けて
戦っているのに
私だけ…

自分に差し出せる
ものがあるなら何でも
差し出すべきだった
のではないかと

なあ、こいつさ
前がダメでも
後ろなら処女喪失に
ならないんじゃないか？

あー確かに
処女膜破れてなきや
セーフだろ

あっ!?

やつぱ
手と口だけじゃ
飽きるよなあ

あ、あの
私…

悪いのは私

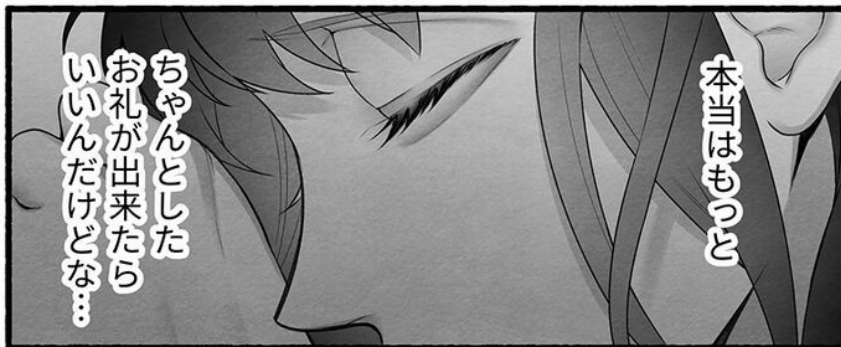




いや正確には人じゃないんだろうけど…



そこへ
あの人

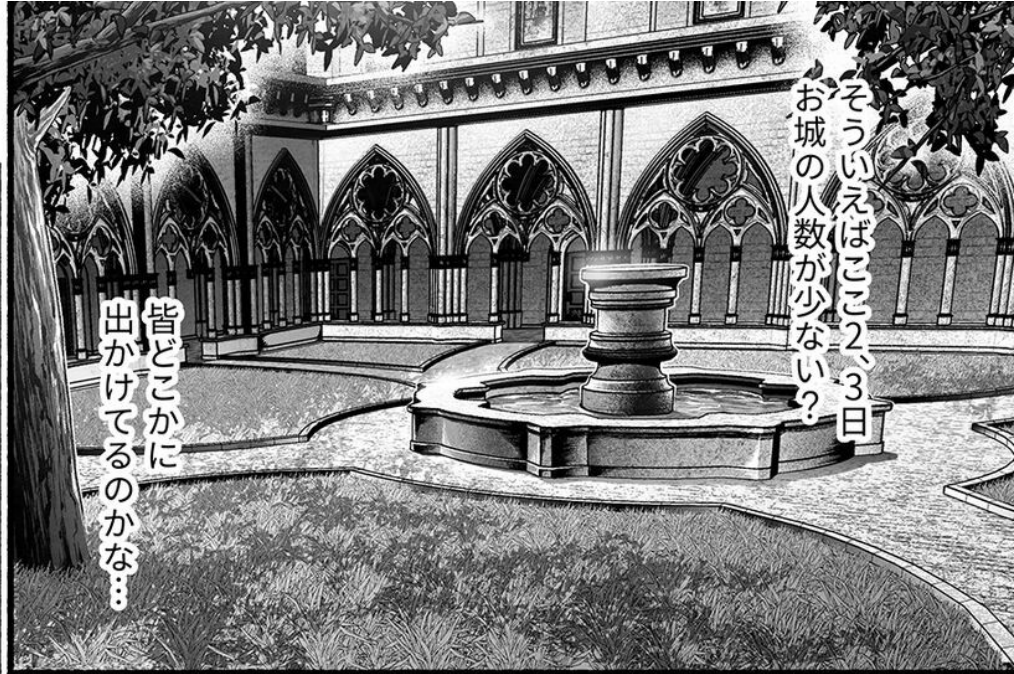


…あれ？





ユキちゃん!!



そういえばここ2、3日
お城の人数が少ない?

皆どこかに
出かけてるのかな?



レオさん?

はあっ

あ、あの
軍の皆が帰ってきて

はあっ

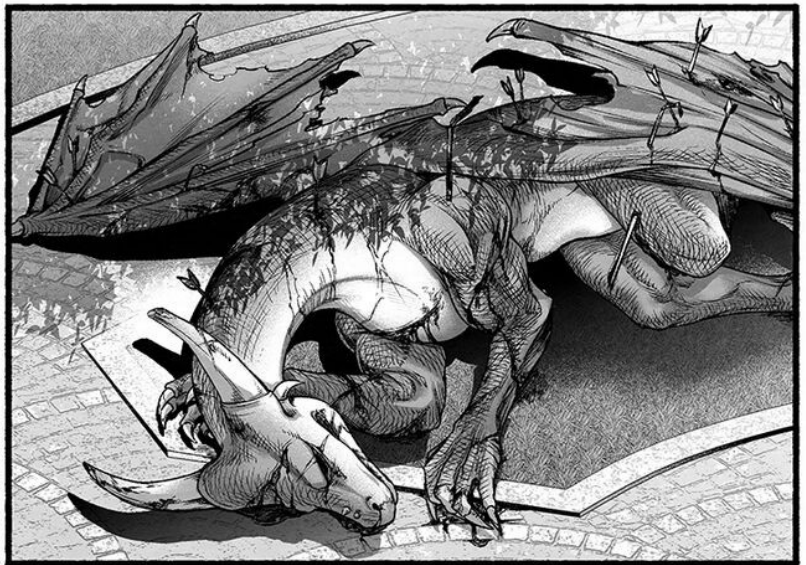
それで
その大變で

だから...

とにかく来てっ



これは...っ



一応ヒールとか
使える仲間には手伝って
貰ってるんだけど
全然回復が
追い付かなくて…

ユキちゃん
薬草とか回復薬とか
持ってたんじゃない？

ここで一番
重体なのは
誰ですか？

え、えっと
あそこのドラゴンかな
多分

でもあの傷じゃ…

スッ

ユキちゃん!?





ふう…

多分これで全員…

もう
大丈夫なはず



でも、その
実はまだ
魔王様が…



レオさん…

ごめん…
疲れてるよね



一気に
使いすぎた…

脳に酸素が
回ってない…

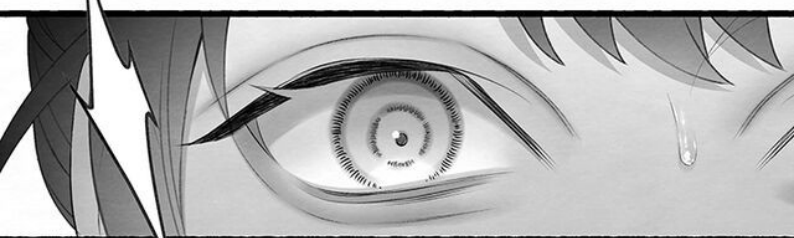
ユキちゃん



自分は大した
怪我じゃないから

回復は他の者を
優先しろって…

でも…



頼りきりで
本当にごめんね

実は魔王様から
キミには黙ってろって
言われてたんだけど…



…っ



う、うん

…レオさん

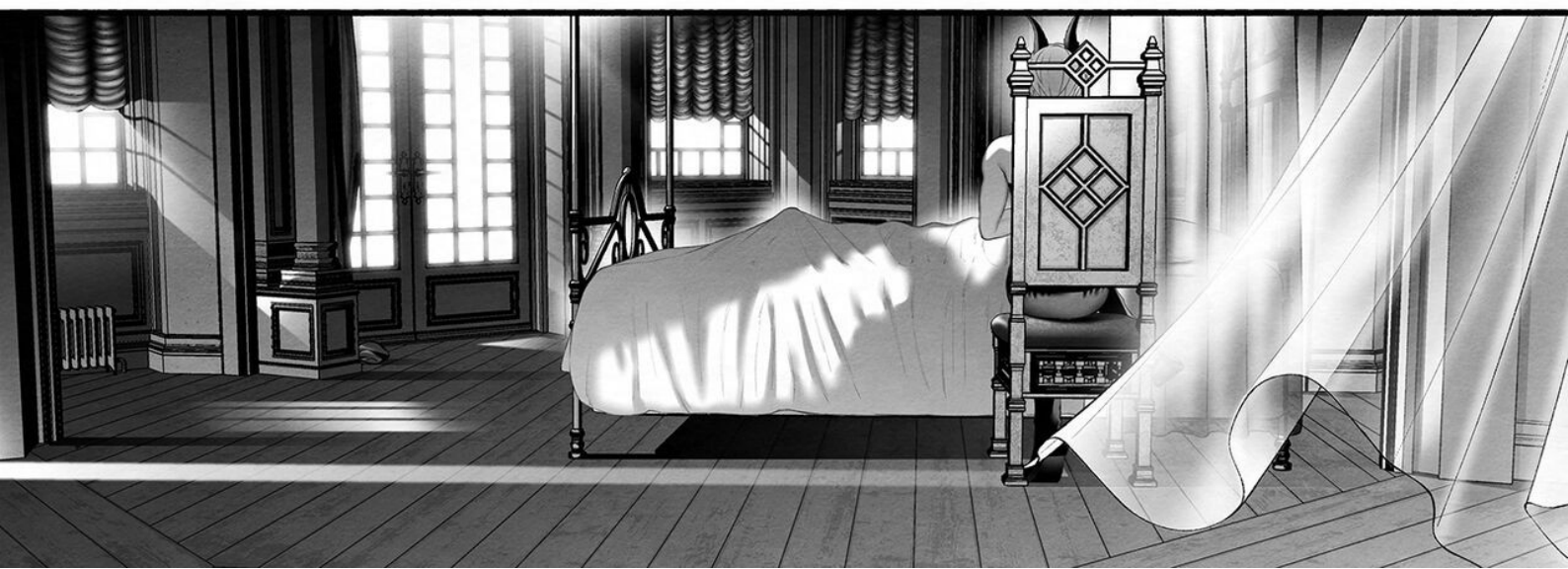


今まで見た中で
一番傷が深い…











レオさん？

あれ皆は…
魔王様は…？

ユキちゃんのお陰で
全員元気だよ！
本当ありがとうね…！



あつユキちゃん
気が付いた？



いえお腹は
大丈夫です

それより…

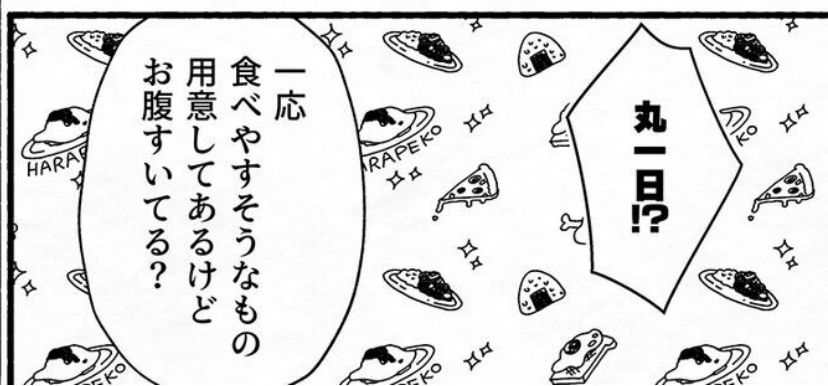
いと…



夕方…？
私何時間寝て…

何時間どころか
ユキちゃん丸一日
寝てたんだよ！

目が覚めて
本当に良かった！



丸一日！？

一応
食べやすそうなもの
用意してあるけど
お腹すいてる？

あ、そうだよね
体気持ち悪いよね

勝手に脱がせたりも
アレかなと思って…

ごめんね！

いえ気をつかって頂き
ありがとうございます

体を拭きたいので
一人にして頂いても
いいですか？

本当は
今すぐお風呂に
入りたい所だけど…

こちらの世界には
浴室というものが無い

いやあるにはあるが
王族や貴族など
限られた邸宅にのみだ

基本的には
体を拭き精々
髪を流す程度

旅の最中は湖で
水浴びが出来れば
良い方だった

あ

それなんだけどさ

魔王様がユキちゃんは
特別に魔王様専用の
お風呂使っていていいって！

へ？

今回は色々迷惑
かけちゃったし
そのお礼も兼ねてって

いえそんな…
私の方こそ助けて頂いた上に
お城にも置いて頂いて
ご迷惑かけっぱなしなので…

それだけじゃなくて
ご飯作って
くれたりとかもさ

知らないかも
しれないけど魔王様
ユキちゃんが作った
ご飯の日は何回も
おかわりするんだよ！

ほら今日は魔王様
帰るの遅いから
それまでに入ってたさ

…ありがとう

じゃあ遠慮なく
お借りしますね

うん
いってらっしゃい

…魔王様
風呂の事なんて
言ってたか…？

あの2人どっちも
グイグイ行くタイプ
じゃないんだから
誰かが背中押さないでしょ



こっちに来て
もう数年がたつけれど

初めてこんなに
沢山のお湯を浴びたー！



はぁー♡

何から何まで
魔王様には本当に
感謝しかない！



魔王様が
帰ってくる前に
出！

…さで

ガチャ



…へ？

あの…レオさんから
魔王様のご厚意で私に
お風呂を貸してくださると
伺って…

……ああ
なるほど

はあ…

理解した

いいからそのまま
体を拭いて出なさい

…俺はこちらを
向いているから

は、はい…

申し訳ない事を
してしまった…

この人は私が
してきたことを
知っている

ぺた…

ぺた…

そんな相手の体なんて
きつと不快に

決まって…!!





でも、今は…っ

っ…



嬉しくない
はずがない

そんな風に
私のことを
見てくれて
嫌なはずがない



良いから行け
お前を蹂躪
したりはせぬ

忘れて
早く休め

この人が



あ、あのっ

もしご迷惑でなければ
お手伝いさせて
頂けないでしょうか!?

……

引かれた、かな
かあ——

けど……

無理をするな
気をつかわなくて良い

こちらこそお前には
感謝しきれぬほど
助けられている

俺に尽くす
必要はない

……それに
嫌な思い出の
残る行為だろう

……

それは……
そうなんですけど……

本当、あんなに
嫌だったのに……

でも
魔王さまは
私……

きゅん……

も、勿論
迷惑でしたら
すぐに退出
するので……

バッ





硬い…



し、失礼します…っ



ドキ
ドキ

カチャ

カチャ



今まで口で
してきたことは
何回もあったけど

こんな風になることなんて
一度も無かった



ドキ
ドキ
でっく…

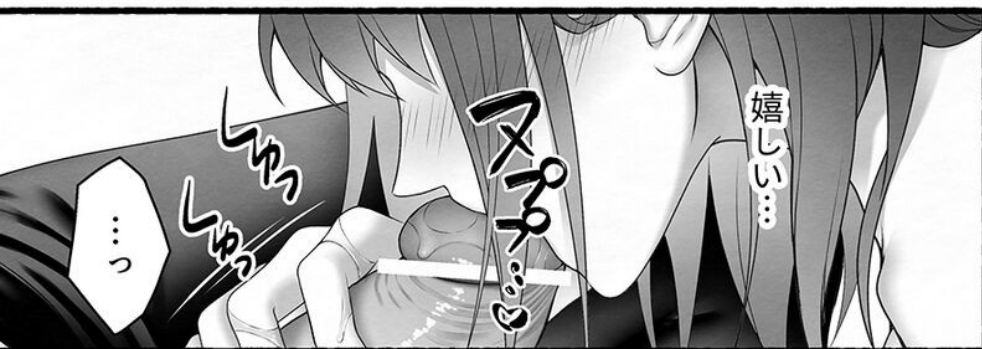
ぶるっ



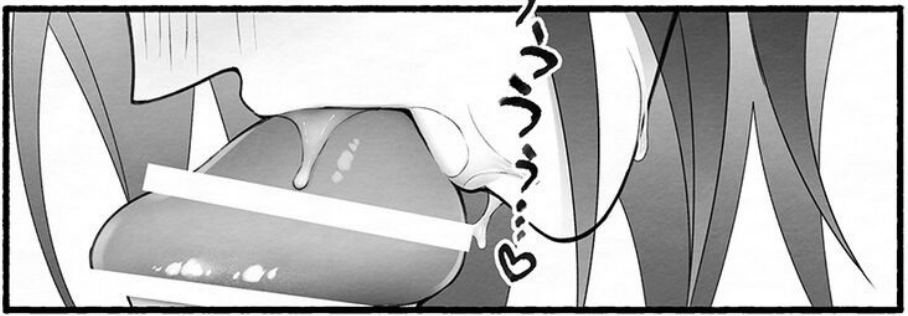
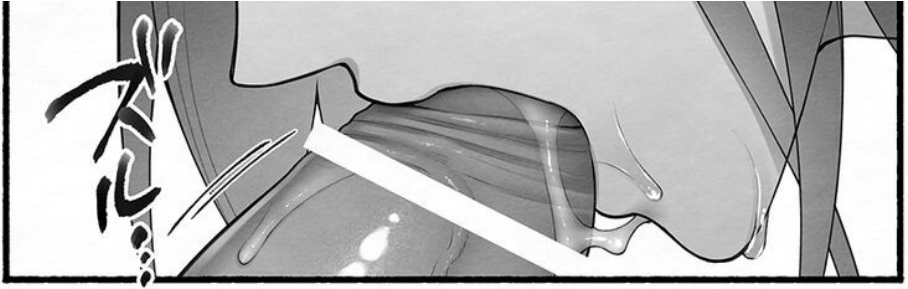
けど
反応してくれてるの
嬉しいな…

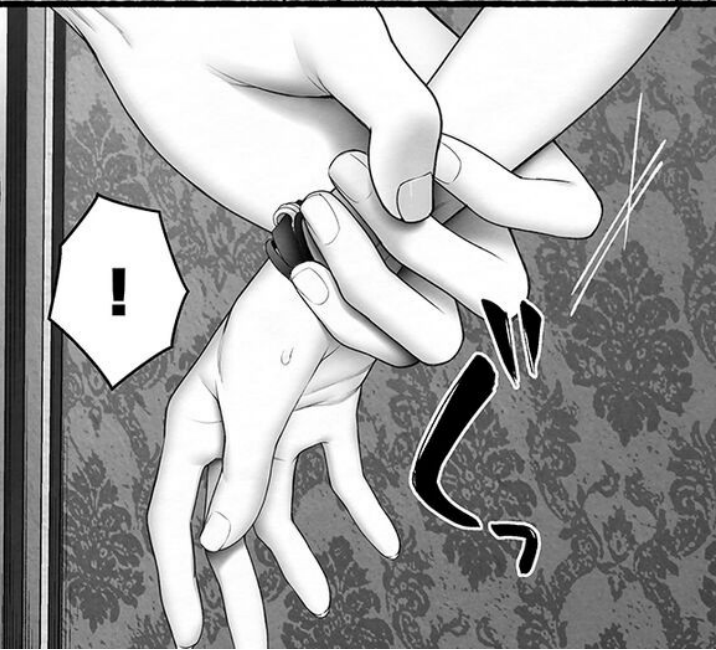
すっく



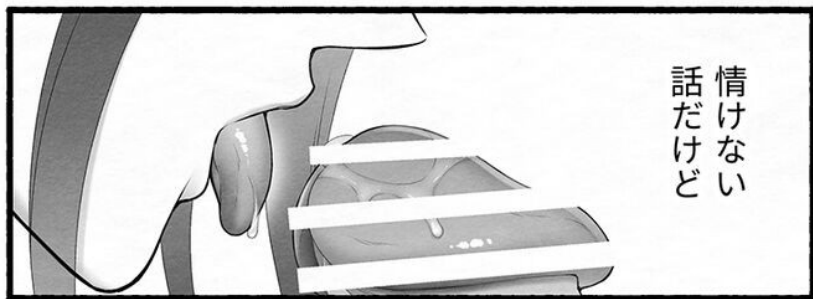


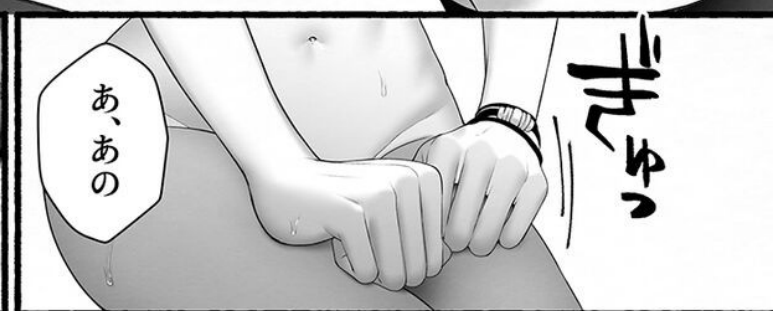


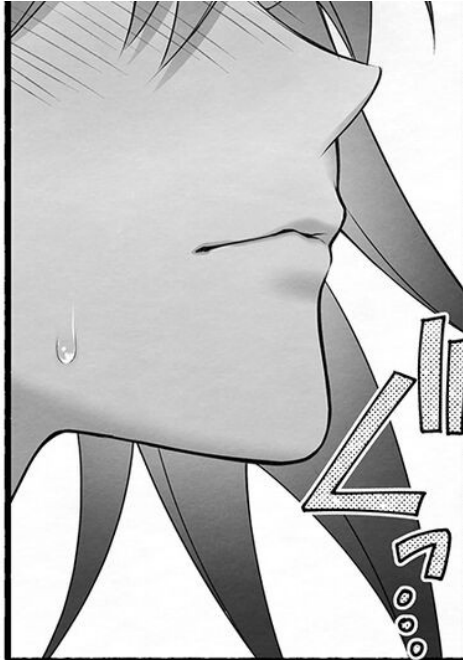












説得力
ゼロですよー！

そうですね
この状況でしかも初めて
会ったのがあの場面で
今更処女って言っても



本当です

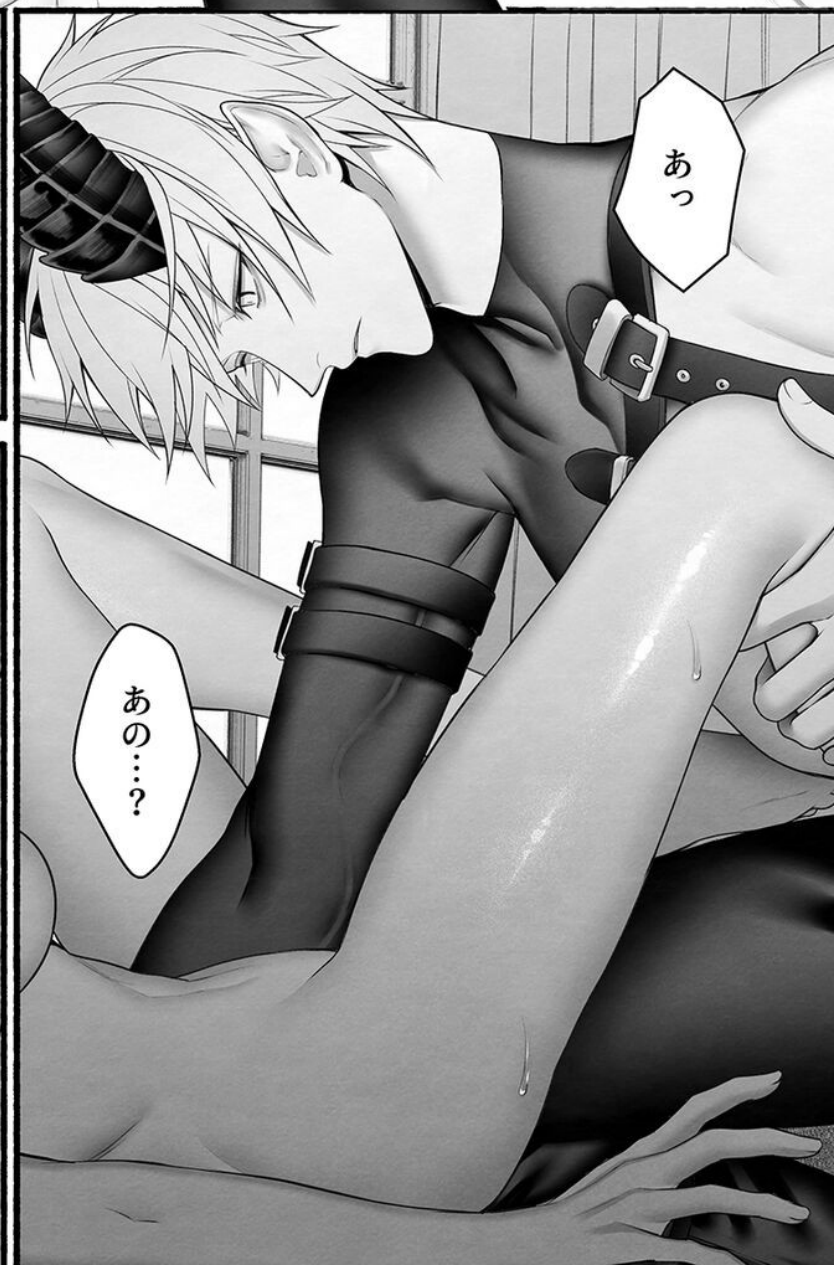
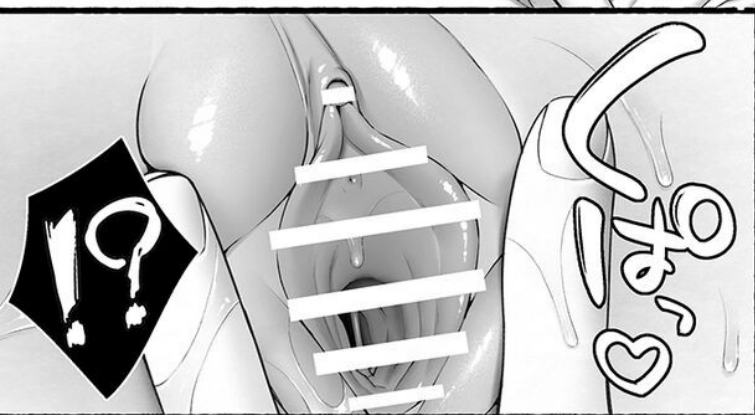
もしご迷惑でなければ
確かめてくださいーっ

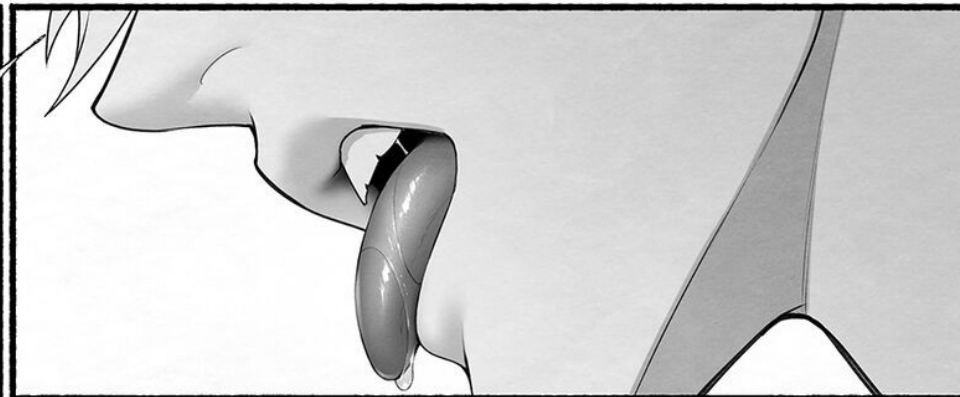
あっこれは…

引かれた…？

かき

調子に乗りすぎた…









あゝ♡

あっ!!

ヒクヒク

だめっ
まっまっ

あっ
待っ...っ

そこ...っ

だめ...っ

?

...

あゝ♡
まっまっ

あゝ♡
まっまっ





キッ...

か...
あ...
ー...

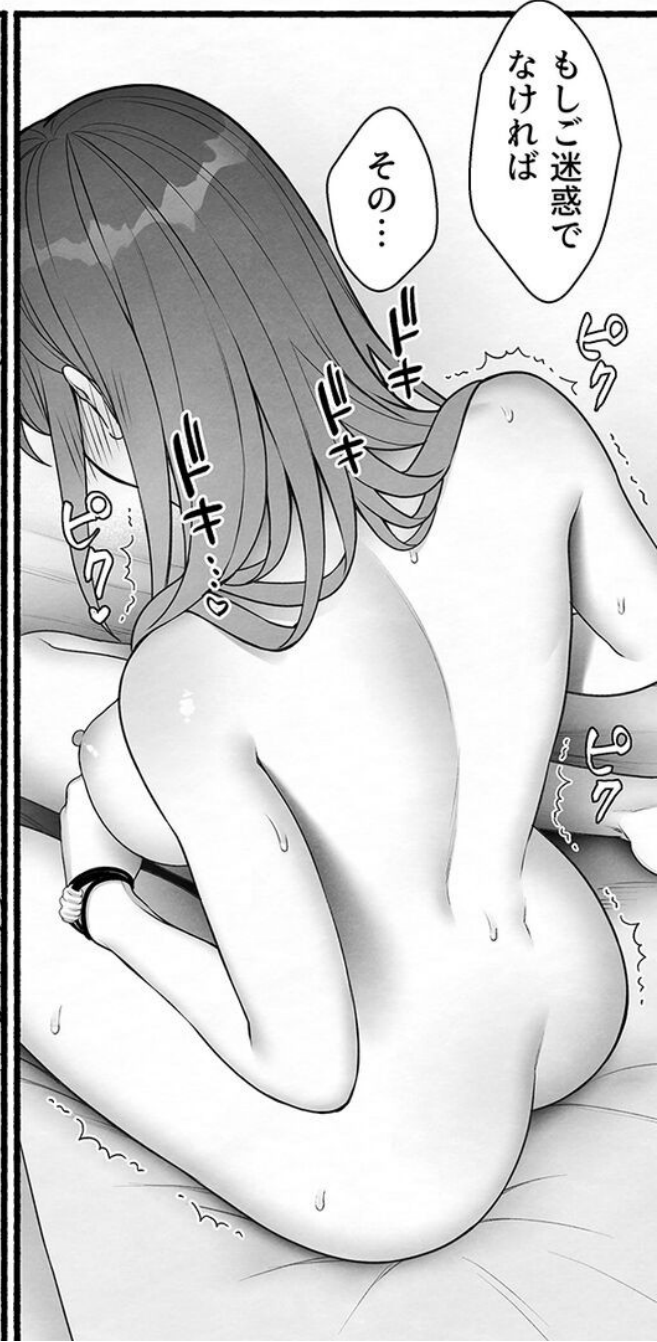
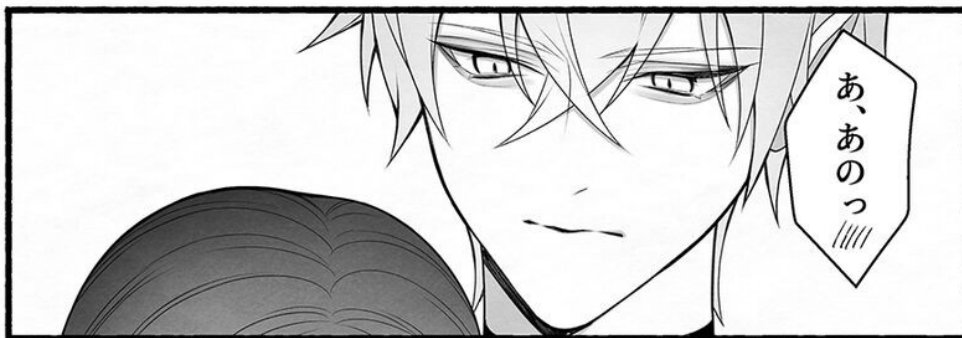
ん...
♡

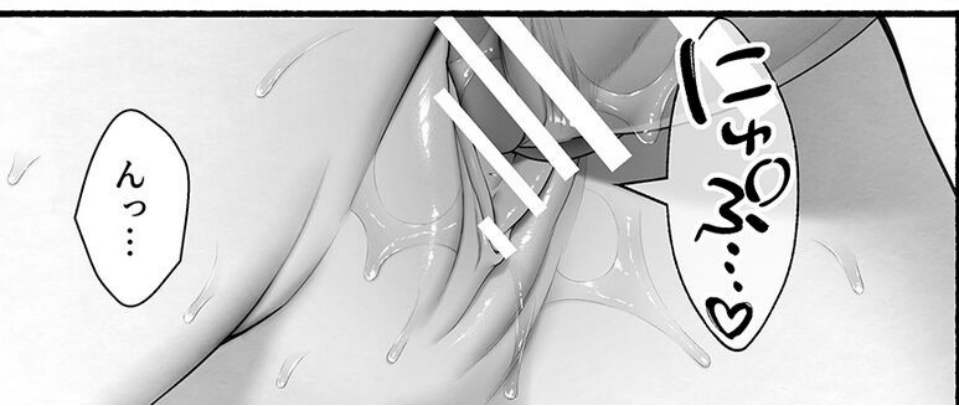
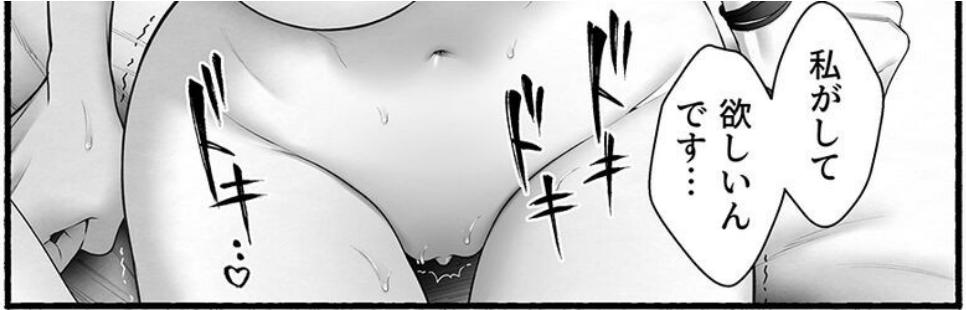
い...
ん...
ん...







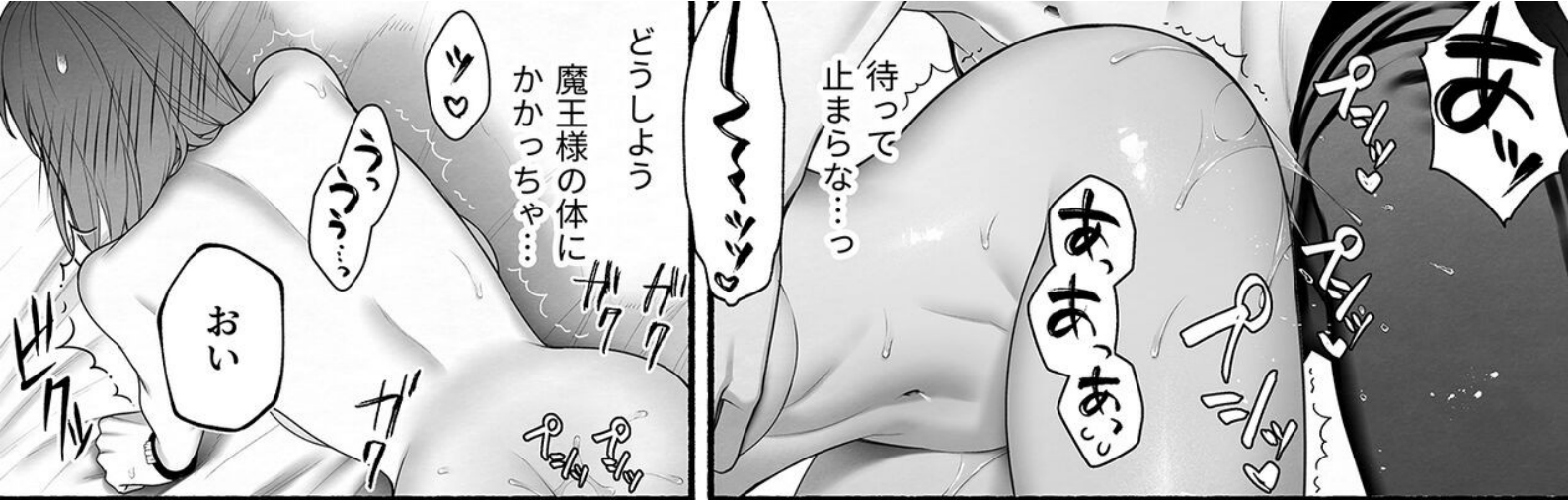












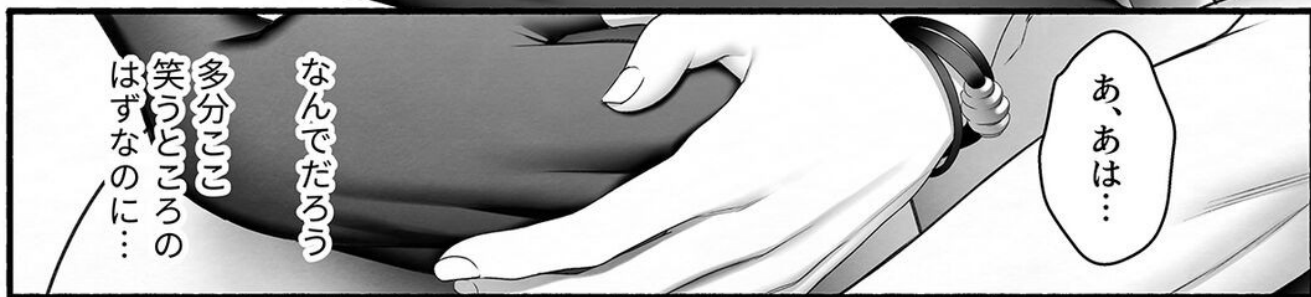


どこにも行くな

こっぴどく

!?

せ
ゆ
ふ



あ、あは…

なんだろう

多分ここ
笑うところの
はずなのに…



…行きません

じね…



こっちの世界の
言葉で言うところの
絶頂というか
昇天というか
...そういう
意味です

やあー



ほっ

!!!
キーン

お前はこの世界の
者とは違う匂いが
するから

いつかどこかへ
行ってしまふの
ではないかと

不安になる

すし

は...♡

とろ...♡

あ...♡





奥まで入れるぞ

待ってっ

まだ中が...



奥まだ
おかしいまま
なのにな







連れていってくれ

ふふふ
ふふふ
ふふふ



一方々の頃



まわり

その後、最強夫婦になった

黒魔法&物理攻撃
カンスト

白魔法カンスト
その後召喚魔法も習得

魔王軍安泰
イエーイ！

計画通り









表紙用に描いてて没になったやつ

ここからは大きめに描いたけど本文では
一部切り取っちゃった絵とかです。









主人公

転生先は国同士が常に戦争をしているような情勢なのもあって
力のある人間が権力を持ちやすく、基本的に男尊女卑の
傾向が強い(魔族はその限りではない)

主人公も元の世界では人並みに自己主張もする性格だったが
転生して2、3年がたち、こちらの世界の価値観の方が
普通なのかと流されそうになっている。
自分は使われて当然という思考に進みかけていたところを
物理的にも思考的にも魔王様に救われた。

勇者たち

こちらにも異世界転生組で主人公と同じ世界から
転生してきている。
が、主人公より更に2〜3年早く転生して来ており
こちらの世界も4〜5年目なので
転生先の価値観により馴染んでいる。

当初はもう少し大人っぽい
顔立ちで描く予定だった
い

外出る時はプラスで
マントとか腰布

角はバフォメットのイメージ
こういう巻いてるのと迷ったけど
結局縦長になった

実際はかなりでかい
角部分無しで2メートル超えぐらい
主人公とは50cmぐらい差がある

魔王

魔族のトップ。人間と魔族は必ずしも敵対しているわけではなく、国によって魔族と敵対する国もあれば友好的な関係の国もあるため魔族側も別に人間が嫌いというわけではない。魔族の世界では基本的に男性の方が多いため女性を大事に扱う傾向がある（数として差があるというより女性の魔族は基本的に個人行動が多いため、集団で自分たちのエリアを守るために戦うようなものはほぼおらず、魔王城にも全然いない）。無口無表情でスマートに見えるんだけど距離が近づくと抜けてる部分というか天然さが見えるキャラになればいいなと思って描いていました。

レオ

戦闘は苦手なので基本的にお城の雑事を行っている。
魔王様が全然結婚して子供を作る気配が無いどころか
女性の影すら見えないので内心心配している。

ここまで読んでくれてありがとうございました！
オリジナルのえっちな漫画を描くのは人生で初めてだったので色々と至らない部分も
多かったかと思いますが1つでも気に入ったシーン等がありましたら嬉しいです。
冒頭の展開急すぎるな…とかその他にも盛り沢山の反省点があるのですが
漫画描いている期間とにかく滅茶苦茶楽しかったので
懲りずにまたちょこちょこ新しいのを出していく予定です。
今回は割と純愛寄りの話になったので次は激し目3Pエロとか描きたいです。



びた/OVERKILL

Twitter→https://twitter.com/bi__ta

pixiv→<https://www.pixiv.net/users/55228542>

カバーデザイン：日村克己様
(Twitter：@lamp_hymura)